

Fusyo Collaboration letter

7月16日 No.20 文責 廣田 秀俊



おもしろくて難しいクイズをつくろう！

「これから3時間目の国語の学習を始めます」黒板には「つぼみ」という言葉が書かれていました。担任の先生から前時の振り返りを求められた1年生の子供たちがその質問に答えていきます。学習計画では次のような順序で進められていました。①音読②クイズの作り方を知る③クイズをつくる④確認⑤友達と交流⑥修正。この日は③のクイズをつくることを行っていました。



このクイズは3年生に出題していきます。3年生に紹介し3年生との仲を深めることが目的です。そのため、これまで教科書で学習してきたことをもう一度見直し、クイズづくりに挑戦して行きました。

クイズの作り方は以下のようにして整えていきます。

- (1) つぼみの形の説明～「□□なつぼみ」
- (2) 問い～「これは何のつぼみでしょう」
- (3) 答え～「これは〇〇のつぼみです」
- (4) 花の説明～「△△な花が咲きます」



この日は2種類の花に注目して行きました。その花のつぼみの形と花の咲き方を自分で考えて行きました。

一つ目の花のつぼみにはこんな説明を考えて行きました。「腕輪みたい」「時計みたい」「周りがチクチクしたブレスレットみたい」「目玉焼きみたい」。花にはこんな説明をつけて行きました。「外が黄色い花」「とんがりになくなったちょっと古い時計みたいな花」「種が詰まっている花」。もう一つの花もみんなて説明を考えました。つぼみについては「シャイマスカットみたいな」「ブルーベリーみたいな」「つぶつぶしてボールみたいな」。花はこんな説明をつけて行きました。「ブドウみたいな色がついている花」「桜の花びらの形に似ている花」「四つ葉のクローバーみたいな花」。



みんなで確かめ合った後、一人一人で考える時間になりました。クイズをつくるヒントとなる、その花が咲く様子の動画を視聴してみることにしました。花の咲く様子を見てクイズに使って行きます。動画を観た子供たちから「あ～そういうことか」「こんな風に咲くんだ」という感想が聞こえてきました。

2種類の内のどちらの花のクイズをつくるかを考え、早速クイズづくりに挑戦して行きました。クイズをつくりながら子供たちがつぶやいています。「一回つくってみてアレンジしよう」「教科書を見ていいですか」「よく見たら〇〇が入ってる」動画を繰り返し見たり、画面を拡大してみたり、こだわりを持って挑戦して行きました。

途中、花の説明で困る場面が出てきました。「～な花が咲きます」の書き方が難しいという意見です。そこには、「～が出てきます」「～から花に変わります」ではどうかという意見でまとまって行きました。友達同士でクイズを見合う活動も行い、何人かのクイズもみんなの前で紹介されました。

「おもしろつぼみのクイズができた」「早く3年生にクイズを出したい」「うまくつくれなかったので次はしっかりつくりたい」など、振り返りの場面でもたくさんの声が聞こえてきました。

